



甲府で交流食事を

食料支援利用者ら ゲームや演奏堪能

NPO法人やまなしライフサポート(中山八十司理事長)は19日、甲府市中央2丁目の甲府カトリック教会で、年末恒例の交流食事を開いた。食料支援の利用者とボランティアらが同じテーブルを囲んで食事やビンゴゲームを楽しんだほか、山梨英和クリスマスソングの演奏などがあった交流食事も

＝甲府市内

中・高マンドリン部によるクリスマスコンサートもあった。

約70人が参加。同部が賛美歌や「ジングルベル」などクリスマスソングを披露した後、県内農家から寄付された野菜や米を使ったカツカレーや豚汁、ヤーコンの甘煮が振る舞われた。

参加した同市の男性(59)は「一人での食事とは違う楽しい雰囲気、年末に気が休まる時間をもらった」と話した。

中山理事長は「米や食品が高騰し、週1回の食料配布の利用者が増え続ける中、多くの人からの寄付に支えられている。(食事が)支援する人、される人の区別なく支え合う場になればいい」と話した。

〈戸松優〉